



2018年12月3日

各位

会社名 LCホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 金子 修
(JASDAQ・コード 8938)
問合せ先 取締役管理部長 福島 満則
(TEL 03-5545-8101)

連結子会社の異動（株式譲渡）及び特別利益の発生に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社が発行済株式の100%を保有する連結子会社株式会社ロジコム（以下、ロジコム）の全株式を株式会社シーアールイー（以下、CRE社）に譲渡することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

また、これに伴い、平成31年3月期第3四半期会計期間の個別及び連結決算において特別利益をそれぞれ計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 株式譲渡の経緯・理由

ロジコムは平成4年7月の創立以来（注）、一貫して東京都多摩北部から埼玉県南部を中心にマスターリース事業（不動産オーナー様から土地・建物をお借りして、テナント様に賃貸する事業）を主な事業として営業して参りました。

ロジコムは創業以来、マスターリース事業の拡大を企図し、不動産オーナー様サービスの向上プログラム、新規物件の立地探索など様々な施策を試みて参りました。しかしながら、ここ数年は新規開発案件の獲得が困難となり、マスターリース事業の拡大は物件の購入による賃貸物件の増加という方法が主となり、マスターリース事業の成長性、収益性、重要性は相対的に低下してきておりました。

このような状況の下、当社は、当事業年度（平成31年3月期）における中期経営計画（平成30年5月15日公表）において、『Simple & Concentrate』を当社グループのスローガンとして掲げ、病院関連事業を当社グループのコア事業として位置づけました。そして、当社グループが保有するコア事業に属さない物流、商業施設については売却を推進し、経営資源を今後成長の見込める病院関連事業に集中することを公表いたしました。当社としては、マスターリース事業を擁するロジコムの成長性、収益性、当社のコア事業との関連性やシナジー等を慎重に検討したところ、当社グループにロジコムを存続させるよりも、他社に売却することが適切であるとの判断に至り、倉庫や店舗等の事業用不動産賃貸業を中心として拡大を続けているCRE社に、当社が保有するロジコムの全株式を譲渡することといたしました。

譲渡先であるCRE社は、東京証券取引所市場第一部に上場している企業であり、特に倉庫等物流施設の賃貸・管理の規模におきましては首都圏においてトップを誇る企業であります。同事業

のノウハウや実績を十二分に保有する企業と判断しており、ロジコムに不動産をお預けのオーナー様、テナント様、その他お取引先様には、より良いサービスをご提供できると判断いたしました。

当該株式譲渡により、当社は、病院関連事業に経営資源を集中させることができ、当社が考える成長性の大きい分野への推進力を持つことが可能になります。

(注) 旧ロジコムの創立は平成4年7月となりますが、現ロジコムは平成28年4月28日に設立された後に、旧ロジコムから同年10月1日付で会社分割を受けてマスターリース事業を承継しております。

2. 株式譲渡の方法

当社が保有するロジコムの全株式を CRE 社に直接譲渡いたします。

3. 異動する連結子会社の概要

| | | | | |
|---------------------------|---------------------------|---|----------------|---------------|
| (1) 名 称 | 株式会社ロジコム | | | |
| (2) 所 在 地 | 東京都東大和市立野二丁目1番地3 | | | |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 鬼木 康男 | | | |
| (4) 事 業 内 容 | 不動産賃貸業、プロパティマネジメント事業 | | | |
| (5) 資 本 金 | 9,000万円 | | | |
| (6) 設 立 年 月 日 | 平成28年4月28日 | | | |
| (7) 大株主及び持株比率 | LC ホールディングス株式会社 (当社) 100% | | | |
| (8) 上場会社と当該会社の関係 | 資本関係 | 当社が当該会社の発行済株式 100%を所有しております。 | | |
| | 人的関係 | 当社グループから全役員(取締役5名、監査役1名)を派遣しております。 | | |
| | 取引関係 | 当社は、当該会社から経営指導料を収受する一方、不動産管理を業務委託しております。また、当該会社の借入等債務に対して連帯保証をしております。 | | |
| (9) 当該会社の最近3年間の財政状態及び経営成績 | | | | |
| | 決算期 | 平成28年3月期 | 平成29年3月期 | 平成30年3月期 |
| | 純 資 産 | — | △126 百万円 | 89 百万円 |
| | 総 資 産 | — | 2,642 百万円 | 6,115 百万円 |
| | 1株当たり純資産 | — | △70,213 円 54 銭 | 15,464 円 86 銭 |
| | 売 上 高 | — | 2,082 百万円 | 4,370 百万円 |
| | 営 業 利 益 | — | △89 百万円 | 41 百万円 |
| | 経 常 利 益 | — | △86 百万円 | 18 百万円 |
| | 当 期 純 利 益 | — | △29 百万円 | 16 百万円 |
| | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | — | △29 百万円 | 16 百万円 |
| | 1株当たり当期純利益 | — | △30,549 円 06 銭 | 4,640 円 85 銭 |
| | 1株当たり配当金 | — | 0 円 | 0 円 |

注) 旧ロジコムの創立は平成4年7月となりますが、現ロジコムは平成28年4月28日に設立された後に、旧ロジコムから同年10月1日付で会社分割を受けてマスターリース事業を承継しております。そのため、平成29年3月期の財政状況及び経営成績は6ヵ月間のものとなります。

4. 譲渡の相手先の概要

| | | |
|-------------------|---|---|
| (1) 名 称 | 株式会社シーアールイー | |
| (2) 所 在 地 | 東京都港区虎ノ門2丁目10番1号 | |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 亀山 忠秀 | |
| (4) 事 業 内 容 | 物流施設の賃貸、管理、開発、仲介、及び投資助言 | |
| (5) 資 本 金 | 2,145 百万円 | |
| (6) 設 立 年 月 日 | 平成 21 年 12 月 22 日 | |
| (7) 純 資 産 | 16,975 百万円 (平成 30 年 7 月期 : 連結) | |
| (8) 総 資 産 | 42,252 百万円 (平成 30 年 7 月期 : 連結) | |
| (9) 大株主及び持株比率 | 京橋興産(株) 48.25% ケネディクス(株) 15.19% ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント (常任代理人 ゴールドマン・サックス証券(株)) 10.53% | |
| (10) 上場会社と当該会社の関係 | 資本関係 | 該当事項はありません。 |
| | 人的関係 | 該当事項はありません。 |
| | 取引関係 | 該当事項はありません。 なお、異動する連結子会社は、相手先の役員が代表理事を務める一般社団法人日本倉庫マスターリース協会の協会員であります。 |
| | 関連当事者への該当状況 | 該当事項はありません。 |

5. 譲渡株式数及び譲渡前後の所有株式の状況

| | |
|---------------|-----------------------|
| (1) 異動前の所有株式数 | 5,800 株 |
| (2) 譲 渡 株 式 数 | 5,800 株 |
| (3) 譲 渡 価 額 | 1,980 百万円 (百万円未満切り捨て) |
| (4) 異動後の所有株式数 | 0 株 |

6. 異動の日程

| | |
|---------------|------------------------|
| (1) 取締役会決議日 | 平成 30 年 12 月 3 日 |
| (2) 契 約 締 結 日 | 平成 30 年 12 月 3 日 |
| (3) 株式譲渡実行日 | 平成 30 年 12 月 20 日 (予定) |

7. 特別利益の計上及び今後の見通し

ロジコムの株式譲渡により、平成 31 年 3 月期第 3 四半期会計期間の個別決算において計算上、最大で関係会社株式売却益 1,830 百万円が見込まれますが、精算項目により変更（減少）も考えられるため、確定次第改めて発表いたします。

なお、連結決算についてはロジコムの本件株式譲渡実行日の貸借対照表が未確定のため、計上額が判明次第、速やかに開示いたします。

また、平成 31 年 3 月期通期連結業績予想につきましては、上記「1. 株式譲渡の経緯・理由」で記載いたしました通り、当社グループが保有している物流・商業施設の売却予定物件が複数存在しており、売却状況によっては大きな差異が発生する可能性があるため、現時点での業績予想の修正は差し控えさせていただきます。なお、開示すべき事項がありましたら速やかに公表いたします。

（ご参考）当期連結業績予想（平成 30 年 5 月 15 日公表分）及び前期連結実績

（単位：百万円）

| | 連結売上高 | 連結営業利益 | 連結経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 |
|----------------------------|--------|--------|--------|-----------------|
| 当期連結業績予想 （平成 31 年 3 月期） | 15,000 | 1,700 | 1,200 | 350 |
| 前期連結業績実績 （平成 30 年 3 月期） | 13,774 | 1,504 | 1,049 | 263 |

以上